

大湾区情報 No. 49

グレーターベイエリア情報 発行：2022年12月6日



【今号のトピックス】

以下のリンクをクリックすると各記事のトップに移動します。

[【広州南沙港の越境 EC 輸出入額 初めて 1,000 億人民元を突破】](#)

[【高齢化社会の課題に取り組む「ジェロンテック・イノベーション・エキスポ・サミット」開催】](#)

[【第2回世界航商フォーラム、第12回アジア物流海運及び空輸会議 香港で開催】](#)

【広州南沙港の越境 EC 輸出入額 初めて 1,000 億人民元を突破】



広州税関によると、今年1～10月、広州南沙港の越境 EC 輸出入額が初めて1,000億人民元を超え、前年同期比3.7倍の大幅増となりました。輸出先は116の国と地域に及び、「一帯一路」沿線国への輸出は390億人民元超えとなり、

前年比 7.5 倍の増加、RCEP 加盟国への輸出は 303 億 6,000 万人民元で前年比 9.1 倍の増加となりました。

毎年恒例の 11 月 11 日独身の日 E コマースプロモーションは終わりましたが、南沙の越境 EC の熱気が収まることを知りません。11 月 23 日、広州南沙総合保税区の越境 EC 企業の倉庫では、100 種類を超える商品が整然と棚に並び、数千個の小包が複数のベルトコンベアを流れていき、スタッフが手際よく梱包しトラックに積み込まれていきました。

「消費者はマウスをクリックするだけで越境 EC サイトで注文、商品は税関情報システムで自動的に照合、迅速に審査が行われることにより通関手続きを完了、企業はすぐに商品を梱包し配送できるため、広州市内の消費者は早ければ当日中に南沙総合保税区から発送された越境 EC 商品を受け取ることができます。」広州税関管轄の南沙税関越境 EC 取引監督課の劉琦副課長はこのように語りました。

越境 EC の新業態の急速な発展に伴い、中国製品の海外への進出スピードも加速し続けており、逆「海淘*」が新たなブームとなり、海外居住の華人華僑の人々も「爆買」のお手軽さを享受できるようになりました。南沙税関は、南沙自由貿易試験区の優位性と広州白雲空港の発達した航空輸送ネットワークを組み合わせ、大湾区空港共用国際貨物運送センターを新たに構築し、越境 EC 企業により柔軟で利便性の高い輸出物流ルートを提供し、越境物流チェーンをさらに最適化しました。リモートカーゴセンターを利用することで、出発の 12 時間前に南沙自由貿易試験区で空港の事前セキュリティチェックと税関検査の手続きをワンストップで行い、税関への車両登録と封印施錠作業を行った後、輸出貨物を広州白雲空港に直接届けることができ、港での通関時間をさらに短縮することができます。

*海淘（ハイタオ）：中国の消費者がネットを通して海外サイトで買い物すること

【高齢化社会の課題に取り組む「ジェロンテック・イノベーション・エキスポ・サミット」開催】



香港サイエンス・テクノロジーパーク（以下「HKSTP」）は人にやさしい革新的な技術の普及を促進し、香港および世界の高齢化社会がもたらす課題に対処するため、第6回ジェロンテック・イノベーション・エキスポ・サミット（Gerontech and Innovation Expo cum Summit、以下「GIES」）を香港特別行政区政府、香港社会服務協議会（HKCSS）と共催しました。GIESは11月2日から5日まで開催されました。

2022年、香港の平均寿命は85.16歳で世界一となっています。高齢化が進むにつれ、高齢者人口全体の9割を占める在宅高齢者（＝コミュニティにて生活している高齢者）の健康、住まい、移動、コミュニケーション、レジャー、仕事などのニーズに応えるために、在宅高齢者の暮らしに優しいテクノロジーが主流になりつつあります。

香港コンベンション&エキシビションセンターで開催された今年の「GIES 2022」は、ジェロンテクノロジー（老年学を意味するジェロントロジー+テクノロジーの造語）の普及及び応用を促進するために、関係者間の対話と協力のためのプラットフォームを引き続き提供しました。今年は、2017年の第一回の100社からほぼ倍増の186社が出展しました。また、HKSTPのパートナー企業やインキュベート先の出展社数も、過去5年間で倍以上に増えています。

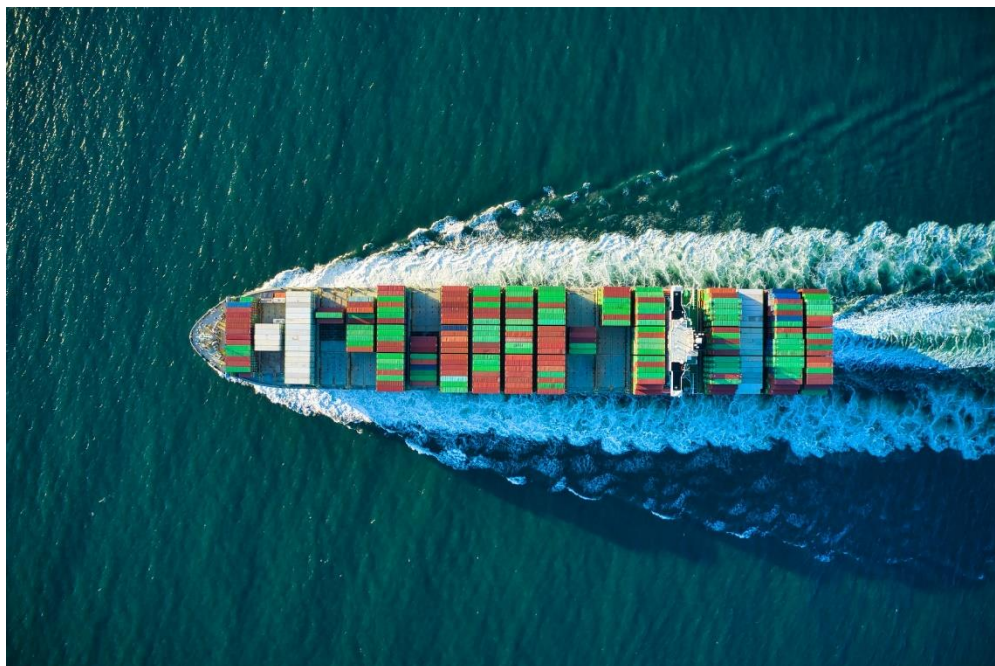
今年のHKSTPのパビリオンは、「ジェロンテクノロジー・ハブ」をテーマに、バイタルサインモニター、リハビリテーションと認知ケア、転倒リスク管理と徘徊防止装置、サービス運営サポート、健康生活科学技術、感覚器官補助、健康診断など7つのカテゴリーで45社のパートナー企業とインキュベート企業の高齢化技術における新しいソリューションが展示されました。

「高齢者向け施設ケアゾーン」では、施設運営をサポートするテクノロジーソリューションが紹介され、インタラクティブな「在宅ケアゾーン」では、12の在宅介護のソリューションとアンバサダーたちによるプレゼンテーションが行われました。同ゾーンはHKSTPと嶺南大学の共同開催で、専門的訓練を受けた20人の高齢者がジェロンテックアンバサダーとして招集され、一般市民に対して自らのユーザー体験をシェアしてもらいました。

また、「GIES2022」では、「ジェロンテクノロジーによるケアの充実～コロナ後の発展方向」をテーマに、政府関係者や業界関係者を招いたフォーラムを開催しました。

HKSTPのイノベーション・エコシステムには、ジェロンテクノロジーに関連する活動を行う70社以上の企業が参加しています。HKSTPは、スタートアップ企業が研究開発成果を市場性のある製品への実用化を加速するために、さまざまなインフラ、人材研修、専門的指導を提供しています。

【第2回世界航商フォーラム、第12回アジア物流海運及び空輸会議 香港で開催】



第2回世界航商フォーラム (World Maritime Merchants Forum)が11月15日から16日にかけて香港で開催され、「Together For A Brighter Future」(共に明るい未来を)をテーマに、世界のゲストと業界のエリートが新しい世界の海運エコシステムを構築する方法についてオンラインとオフラインで議論を行いました。

香港には堅実な海運の伝統があり、港湾、海運、海事サービス産業は常に香港の貿易と物流産業の発展を支えてきました。香港の港湾は、世界で最も交通量の多いコンテナ港の一つであり、アジア太平洋地域の重要なハブ港となっています。

「香港は活気に満ち溢れた海事クラスタを擁しています。」香港特区政府の交通・物流局長官である林世雄氏は、サブフォーラムで、香港には900社近くの海事関連企業があり、船舶所有、船舶代理店・管理、船舶仲介など、質の高い海事サービスを幅広く提供していると述べました。

「国家第 14 次 5 カ年計画」と「粵港澳大湾区計画綱要」（大湾区発展計画）は、香港の国際海運センターとしての地位を明確に支持しています。現在までに、海運業は香港の対外商品貿易量の 90% 近くを担っており、貿易と物流は香港の GDP の 5 分の 1 を占めています。

世界経済の回復の弱さなど複数の要因が重なり、プロセスの透明性や輸送の定時性などにおける、業界の問題点が次々と露呈し、新しい海運業界のエコシステムの創出が業界共通の関心事となっています。

招商局集団有限公司の董事長である繆建民氏は、今後の発展において、科学技術の進歩とコンセプトのアップグレードが海運発展の新しいモデルを再構築する、と述べています。デジタル化、ネットワーク化、インテリジェント技術の包括的な応用と、エコロジーシェア、グリーン低炭素開発コンセプトの加速的推進は、海運の発展モデルを根本的に変えることとなります。

シンガポール・パシフィック・インターナショナル・ライNZ・グループ CEO である張松声氏は、未来の海運は船会社やターミナルだけでなく、デジタル化やサプライチェーンなど、多方面における統合と発展が必要であり、これには香港の地理的、産業的、人材的な優位性が重要な役割を果たすであろう、と述べました。

近年、香港では、海運サービス産業の振興と企業誘致のため、より活気のある海運サービス・クラスターを構築するための一連の施策が実施されています。「今年、香港では船舶代理店、船舶管理会社、船舶仲介会社に対する企業所得税の優遇措置がさらに強化されることになりました。」と林世雄氏は述べました。

また、香港特別行政区政府と香港貿易発展局（HKTD C）共催の「アジア物流海運及び空輸会議」が 11 月 22 日香港で開幕し、世界各国からの参加者がオンライン・オフラインの方法で参加し、業界の最新動向を話し合ったり、共にビジネスチャンスを探りました。

会議では、香港政府財務長官ポール・チャン氏は、香港の海運や航空輸送の分野において多くの利点があり、良い成績を収めており、コロナ前、香港の航空ネットワークは世界に 200 以上の目的地に及んでおり、そのうち約 50 が中国本土であり、香港からアジアの主要都市はすべて 4 時間以内のフライトによる到着が可能でとなっていました。香港国際空港の第三滑走路の完成により、旅客・貨物輸送能力が大幅に向上し、国際航空ハブとしての香港の競争力・地位が高まってきていると述べました。

データによると、香港の港は、世界で最も繁忙であるコンテナ港のトップ 10 の 1 つとなっています。2021 年、香港の港において約 1,800 万 TEU のコンテナが取り扱われました。現在、香港の港は週約 270 便の国際コンテナライナーサービスを提供しており、香港港と世界の約 600 の目的地を結んでいます。

ポール・チャン氏はまた「国家第 14 次 5 年計画」と「大湾区発展計画」において、香港が国際海運の中心地、国際航空の主要ハブとしての将来的な発展が改めて肯定されたと述べました。香港は、今後も中国の経済発展に受け込み、物流業界を含む幅広い分野で、これらの政策がもたらす無限のチャンスを開いていくことでしょう。

世界貿易機関（WTO）副事務局長の張向農氏もビデオでスピーチを行いました。会議は、2 日間にわたり香港コンベンション&エキシビションセンターとオンラインで同時開催され、今年は 90 以上の国際機関の代表者が集まり、国際・地域協力、大湾区発展、イノベーションとテクノロジー、持続可能な開発などのテーマで意見交換を行います。主催者は、50 以上の国や地域から 14,000 人以上の参加者を見込んでいます。

【参考資料】

- ・ [広州南沙港の越境 EC 輸出入額 初めて 1,000 億人民元を突破](#)
- ・ [高齢化社会の課題に取り組む「ジェロンテック・イノベーション・エキスポ・サミット」開催](#)
- ・ [第 2 回世界航商フォーラム](#)
- ・ [第 12 回アジア物流海運及び空輸会議 香港で開催](#)